

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野		砂防施設整備		事業番号、事業名		8 砂防		補助・単独別		補助		建設部 砂防課							
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費	翌年度 上段：一般財源 下段：事業費	完了 予定 年度	項目毎の評価						部意見	政策評価課意見	現地 調査	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点							ランク
1	木曾町	しゅべいほわ 尻平沢 日義	砂防堰堤高上げ工 2基	5億円	100万円 2000万円	H27	A	A	A	A	B	87	A	当流域には大規模な斜面崩壊をはじめ、荒廃が進んでいる。渓床内には不安定化した土砂が多く堆積しており、次期降雨による土砂流出の危険性が高い。下流には民家37戸、国道19号、JR及び災害時要援護者施設のグループホームがあるため、早急に砂防施設による土砂災害対策が必要である。	必要性が高く、重要性、緊急性も認められる。				
2	飯綱町	こばやしさわ 小林沢 高坂	砂防堰堤工 1基 H=9.5m L=33m	2億円	100万円 2000万円	H27	A	A	A	A	A	87	A	当流域には、不安定な渓床堆積物が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っている為、次期降雨による土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には災害時要援護者関連施設、一次避難所が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要のため、平成24年度事業化したい。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。				
3	駒ヶ根市	からまわがわ 唐沢川 東伊那	砂防堰堤工 3基 (H=8.0m L=72m、 H=8.0m L=73m、 H=8.0m L=55m)	6億円	90万円 1800万円	H30	A	A	A	A	A	85	A	当流域には、44災害で流出しなかった不安定な渓床堆積物とその後のマサ化による侵食土が多く堆積しており、また、保全対象までの距離がないことから、次期降雨による土砂流出による保全対象への被害が懸念される。保全対象には災害時要援護者、中学校、公民館が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。				
4	坂城町	どうがんさわ 洞岩沢 新地	砂防堰堤工 1基 H=7.0m L=33m	2億5000万円	50万円 1000万円	H28	A	B	A	A	A	85	A	当流域には、不安定な渓床堆積物と多くの倒木が存在しており、保全対象の個数も多いため次期降雨による土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には、老人福祉施設、公民館が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。				
5	松川町	なかむらさわ 中の村沢 中の村	砂防堰堤工 3基 中の村沢1 H=6.5m 中の村沢2 H=6.5m 宮沢川 H=6.0m	2億円	90万円 1800万円	H28	B	A	A	A	A	84	A	当流域には、36災害で流出しなかった不安定な渓床堆積物とその後のマサ化による侵食土が多く堆積しており、また、保全対象までの距離がないことから、次期降雨による土砂流出による保全対象への被害が懸念される。保全対象には公民館、町営ため池が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性、緊急性が認められる。				
6	木島平村	さんさわ 三ノ沢 原大沢	砂防堰堤 2基 (不透過型、透過型) H=6.5m L=65.0m H=8.0m L=98.0m	4億円	110万円 2000万円	H28	A	B	A	A	A	84	A	当流域は火山堆積物により構成されており、渓床には倒木や不安定土砂が非常に多く堆積している。降雨時の土砂流出の危険性が高いため、下流の県道、人家66戸及び災害時要援護者の保育園を保全する必要があり、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。				
7	木祖村	てらさわ 寺の沢 半野	砂防堰堤工 1基 H=14.5m L=43m	1億8000万円	100万円 2000万円	H28	B	A	A	A	A	82	A	当流域には、不安定な渓床堆積物と多くの倒木が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っている為、次期降雨による土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には、村道が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性、緊急性が認められる。				
8	麻績村	ひくまかわ 干草川 横屋	砂防堰堤工 1基 H=9.0m L=65m 流木捕捉工 1基 H=4.0m L=4.2m	1億7000万円	75万円 1500万円	H27	A	B	A	A	B	81	A	当流域には、不安定な渓床堆積物と多くの倒木が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っている為、次期降雨による土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には、災害時要援護者施設や公民館が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性が高く、緊急性も認められる。				

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野		砂防施設整備		事業番号、事業名		8 砂防		補助・単独別		補助		建設部 砂防課							
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費	翌年度 上段：一般財源 下段：事業費	完了 予定 年度	項目毎の評価						部意見	政策評価課意見	現地 調査	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点							ランク
9	下諏訪町	おおさわがわ たかぎ 大沢川 高木	砂防堰堤工 1基 H=11.5m L=78m	2億5000万円	100万円 2000万円	H28	A	B	A	A	C	79	A	当流域には、不安定な渓床堆積物と多くの倒木が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っている為、次期降雨による土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には、災害時要援護者施設や公民館が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性が高く、緊急性も認められる。				
10	飯田市	こがいで さわかわじ 小垣戸沢 川路	砂防堰堤工 1基 H=10.0m L=40m	1億5000万円	90万円 1800万円	H26	B	A	A	A	A	79	A	本溪流は、36災害を殆ど土砂流出の災害履歴があり、また、土砂災害警戒区域内には、避難施設の公民館が存在している。流域内には崩壊地、また河床不安定堆積物が見られ、また、土石流基準点から保全対象までの距離がないことから、土石流発生による下流保全への被害を守るため、速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性、緊急性が認められる。				
11	須坂市	ふくさわ にれ 福沢 仁礼	砂防堰堤工 4基 H=7.0m L=29.0m H=7.5m L=52.0m H=8.5m L=94.0m H=6.5m L=73.0m	6億円	100万円 2000万円	H28	B	B	A	A	A	77	A	当流域には、不安定な渓床堆積物と多くの倒木が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っている為、次期降雨による、土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には、公会堂が3箇所が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	緊急性が認められる。				
12	大町市	きたはらさわ ゆかい 北原沢 湯の海	砂防堰堤 2基 H=7.5m L=88.0m H=9.0m L=68.0m	4億2000万円	50万円 1000万円	H30	B	A	A	B	A	77	A	当流域には、不安定な渓床堆積物が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っているため次期降雨による土砂と流木の流出による保全対象への被害が懸念される。保全対象には、避難所、避難路が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高い。				
合 計			1 2 箇所	39億2000万円	1055万円 2億900万円		A：配点の75%以上 B：50%以上75%未満 C：50%未満												